

# 山口市芸術家育成支援事業

第1回やまぐち新進アーティスト大賞  
第1回やまぐちACS賞 (The Artist of Citizens Selection)

参加アーティスト数：20名

最終選考 候補者：7名

橋口 仁 (33)

ハセガワ タカシ (33)

原田 和明 (34)

平川 和明 (LB Furniture works) (29)

森光 亜紗子 (29)

山根 秀信 (49)

渡邊 陽子 (32)

## (総 評)

本賞の直接的な因は、故田口克己氏の遺志である。山口の地で、今という時代に芸術を通して創造の世界にチャレンジしている若きアーティストに着目し、市民とともに支援しようという主旨である。

20名のアーティストから応募があったが、芸術におけるジャンルという既成概念のボーダレス化を感じさせる多彩なアーティストが揃い、文化のまちを標榜してきたこの地における新しいアートの生成を感じた。

まず、最終選考の対象者となる7名のアーティストを選び出し、さらなる絞り込みの結果、山根、平川、渡邊の3氏について、5名の審査員の真摯な議論に、詳審な吟味を加えながら、最終結果としては、満場一致で平川氏が大賞受賞者に決定した。

新しい時代にあって、未知の世界に立ち向かう新進アーティストによって展開される作家のエネルギーは、クリエイティブシティ山口としての存在感をさらに増してくれるであろう事を期待させる、市内外から参加した審査員にとっても、さわやかな審査会となった。

(やまぐち新進アーティスト大賞審査委員会審査委員長 足立明男)

### (やまぐち新進アーティスト大賞選評)

シンプルな見ごたえのあるデザイン、座り心地の良さ……、フィンランドで学びながら、日本人の感性に馴染む快適な作品であった。特に脚部への考え方、思考方法に誠実さを強く感じました。木という素材に向き合い、暮らしを営む人に向き合いながら、洗練された構想力や高い技術力を培うことにより、作品に豊かさを与えていこうとする作り手の姿勢が垣間見えた。日本人のもつ伝統的なライフスタイルの中にさえ、新たな感性を取り込んでいく、意欲的な若きアーティストの求める世界のあり方と可能性が示唆されている。

(審査委員 今井徹也)

・・・第1回やまぐち新進アーティスト大賞審査委員会審査委員・・・

足立 明男 (山口情報芸術センター館長)

井生 文隆 (山口県立大学教授)

石崎 泰之 (山口県立萩美術館・浦上記念館学芸課長)

今井 徹也 (建築家)

森川紘一郎 (周南市美術博物館館長)

・・・第1回やまぐちACS賞審査委員会審査委員・・・

市民審査委員13名

## 「第1回やまぐち新進アーティスト大賞」

受賞者（アーティスト名）：平川 和明（LB Furniture works）

肩書き：家具職人

### PROFILE

1979年福岡県山門郡瀬高町（現みやま市）生（29歳）。山口市大内御堀在住。2002年、山口県立大学環境デザイン学科卒業。家具づくりを学ぶため、県立大学大学院在学中にヘイノラインスティテュートキャビネットメーカー学科へ入学（フィンランド）。ギャラリーでの展示会、住宅博覧会等への参加を行なう。帰国後、大学院へ復学。昼は木工所に勤め、夜間大学院へ通う。2005年、在学中に大学時代の同級生と家具屋（LB Furniture works）を設立、大殿大路に店舗を、宮野下に工房を構える。2006年、大学院を卒業。現在、グループ展に参加するなど県内を中心に活動中。



### 受賞コメント

この度は、「やまぐち新進アーティスト大賞」を受賞させて頂きありがとうございます。家具づくりをはじめて7年、大学の同級生と家具工房「エルビーファニチャーワークス」を立ち上げて、4年目となります。これまでの取り組みがこのような形につながったことをうれしく思います。また、これまで支えてくださった方々のおかげだと大変感謝しています。この賞を励みにこれからも真摯に家具づくりに取り組んでいきたいと思ひます。

（LB Furniture works 平川和明）



## 「第1回やまぐちACS賞」

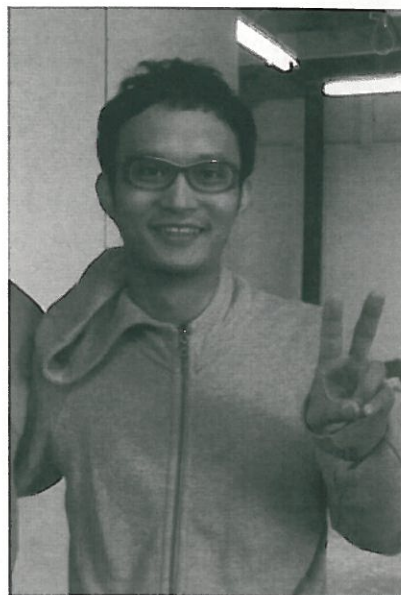
The Artist of Citizens Selection

受賞者：原田 和明 (アーティスト名同じ)

肩書き：オートマタ作家

### PROFILE

1974年光市生まれ（34歳）。山口市秋穂在住。  
1997年、山口大学人文学部博物文化論コース  
（美学美術史専攻）卒業。2002年、オートマタ  
の魅力に取り付かれ制作を始める。2007年、オ  
ートマタ発祥の地ユニバーシティ・カレッジ・  
ファルマス大学院 コンテンポラリークラフト  
コース修了。帰国後、自宅そばにアトリエ兼ギ  
ャラリーを構える。現在、山口市秋穂を拠点に  
国内外の展覧会へ出品するなど活動中。



### 受賞コメント

やまぐちACS賞に選出していただきありがとうございます。  
オートマタという、まだ一般に馴染みの薄いジャンルに賞がいただけたことは  
非常に画期的で意義のあることだと思います。  
今回の受賞が多くの人にオートマタの魅力を知っていただくきっかけになれば、  
とても嬉しいです。今後とも応援よろしく願いいたします。

(原田 和明)



# 山口市芸術家育成支援事業

第2回やまぐち新進アーティスト大賞

第2回やまぐちACS賞 (*The Artist of Citizens Selection*)

参加アーティスト数：9名

最終選考 候補者：4名

チーク パッチ (47)

大和 猛 (46)

山根 秀信 (50)

渡邊 陽子 (33)

(50音順・敬称略、年齢基準日：審査日)

## (総 評)

2回目の大賞審査会は各委員割当3票の投票の結果、複数票以上獲得した4名(受付順にチーク パッチ・大和猛、渡邊陽子、山根秀信)に締まり選考が進められた。新しく会に参加された彫刻家田中米吉氏を含め、各委員のフリートーク方式による選考は、作家作品論は勿論のこと、賞の性格づけ、あり方等についても掘り下げながら深まりのある議論の場となった。結果として満場一致、大賞は渡邊陽子さんが選出された。

選考後、心に強く残ったことは、世界の動向と軸を一にするようにここ山口の地にもいろんなアートの流れが混じり合いつつあるということである。

選ぶ側にとっても「学びの場」となった。

(第2回やまぐち新進アーティスト大賞審査委員会審査委員長 足立明男)

## (やまぐち新進アーティスト大賞選評)

薄造りながら凹凸感のある連続模様がみせる視覚的な強さに、この作家のかたちを紡ぐ思念の深さが重なる。それは、素材である土の表面に既存の模様を押しつけることで得られる、借り物的装飾の背後に、作り手の内奥に秘められたナイーブな心性の強靱さを予見させるからだろう。

器表に施された華やかな借り物的装飾技法は、一見するとガーリッシュ(garish)。しかし、ここに野放図な奔放さや繁褥さは覚えない。整齐花冠のごとく配されたそれらの模様は、無紋の器面との間にほどよい緊張関係をもたらし、彩りも白素地に一色だけと抑えられているからだ。そしてこのノーブルな装いのうちに、器形に包まれた内なる精気の充満、つまりかたちの生命の抑揚が暗示されている。

こういった渡邊の表現手法は、過剰と抑制、饒舌と寡黙といったような、二律背反的な感覚の共存ということを目指して導かれたと捉えられる。素材である土や釉の物質性に起因する視覚的触覚を手がかりにそれらを整序し、自己の心性に違うことなくかたちを立ち上げていこうという造形思考は、今後、技術的練度の向上にともない更に確実なものとなっていくだろう。

(第2回やまぐち新進アーティスト大賞審査委員会審査委員 石崎泰之)

・・・第2回やまぐち新進アーティスト大賞審査委員会審査委員・・・

足立 明男 (山口情報芸術センター館長)  
井生 文隆 (山口県立大学教授)  
石崎 泰之 (山口県立萩美術館・浦上記念館学芸課長)  
今井 徹也 (建築家)  
田中 米吉 (彫刻家)

(50音順・敬称略)

・・・第2回やまぐちACS賞審査委員会審査委員・・・

市民審査委員12名

・梅原 望 ・岡村千代子 ・北口 絢章 ・清水 大輔  
・曾田 元子 ・竹部 徳真 ・田村由紀子 ・中田 禎子  
・野村 郁子 ・平尾 恵 ・藤井 裕子 ・安田剛史郎

(50音順・敬称略)

## 「第2回やまぐち新進アーティスト大賞」 「第2回やまぐちACS賞」

受賞者（アーティスト名）：渡邊 陽子  
肩書き：陶芸家

### PROFILE

1976年岡山県津山市生まれ、山口育ち（33歳）。山口市矢原在住。2000年、京都市立芸術大学美術学部工芸科陶磁器専攻卒業（卒業制作展/『富本賞』受賞）。在学中にイタリアのファエンツアの工房にて研修。帰国後大学へ復学。ギャラリーなどでの作品の発表を始める。卒業後、京都にて個展等の作家活動を行う。2003年、活動の拠点を山口へ移す。2007年、第1回現在形の陶芸・萩大賞展 佳作。現在、県内外で個展を中心に活動中。

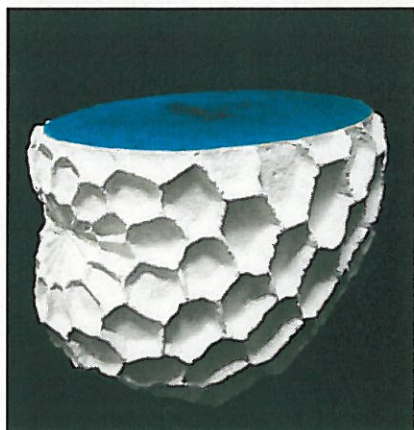


### 受賞コメント

街路樹の落した種子の束の間の孤独と、その固い殻の中で出番を待つエネルギーについて考えたことがこの作品をつくるきっかけとなりました。このたび、「やまぐち新進アーティスト大賞」をいただきましたこと大変感激しております。山口に制作の拠点を移し7年、私の活動に対し力強く背中を押していただいたような気持ちです。これまで支えて下さった方々に心から感謝いたします。ありがとうございました。

また、「やまぐち新進アーティスト大賞」のみならず「やまぐちACS賞」にも選出していただき本当にありがとうございました。市民の方々に支持されて選出される賞を受賞できたこと、大変心強く思います。今後も山口市を拠点に制作活動に邁進していきたいと思っております。

（やまぐち新進アーティスト大賞審査対象作品）



（やまぐちACS賞審査対象作品）

